



サンショウモ	<i>Salvinia natans</i> (L.) All.	絶滅危惧Ⅰ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		サンショウモ科
選定理由	生育地が限定されているうえ、湿地や水路など水辺の環境が大幅に変化し、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(村長昭義) 
形態の特徴	一年生の水生シダ。浮葉は単葉で草質、楕円形から長楕円形。水中葉は細かく枝分かかれし、根のような形態と機能をもつ。	
生態的特徴	ため池、水路などに生育する。	
分布状況	本州から九州に分布する。岐阜県では県南西部の標高の低い水田地帯に分布する。	
減少要因	水田に使用される農薬および、ため池や水路の改修。	
保全対策	湿潤な水辺の環境を保持する。	
特記事項	近年、淡水魚鑑賞用に外来種であるオオサンショウモが持ち込まれ、野外に放出されていることもあり、自然交雑種が発生する可能性もある。	
参考文献		

文責:村瀬正成